

松井市長 との一問一答

Q. 10年の振り返り。維新議員で各地域の地活況にヒアリングへ！町会加入の必要性と災害時の自助・共助の重要性について

A. 実際に、阪神・淡路大震災では、生き埋めになり救助された人の3割近くが共助で助けられたといわれており、日頃から地域住民同士の関係を作っていたことが、災害時の助け合いにつながるものと認識している。本市として、町会加入の必要性を強く訴えてまいる。



岡田やすとも 議員

Q. 万博開催に向けてバリアフリーを強く推進していきたい

A. すべての人が安全で快適にアクセスできる環境整備の実現に向けて取り組み、さらには万博後も引き続きバリアフリーにおいて世界に誇れる大阪と言われるようなまちをめざしていく。

Q. 保険適用後も尚、全額自己負担部分の不妊治療への支援が必要

A. 先進医療は安全性が確保されており、治療の選択肢も拡がることから、保険対象の見直しが必要と考える。

Q. 0歳～2歳の子育て支援を早急に取り組みたい

A. 保護者が必要な時に気軽に利用でき、子育てから離れ、リフレッシュできるようなサービスの提供などについて、負担軽減の支援策を検討するよう担当部局に指示していく。

Q. 水の都大阪をアピールするには

A. 大阪・関西万博に向け、「水の回廊」におけるにぎわいを発展させ、大阪の水都としてのポテンシャルを最大限に活かし、誰もが「世界のなかで大阪」と認めるような都市ブランドの確立をめざしていく。



吉見みさこ 議員

Q. 万博に向けた機運醸成が必要。ブルーインパルス展示飛行を実現したい

A. 博覧会協会等と連携し、様々な広報媒体を通じ大阪全体を万博一色にして訪れた方々をお迎えできるよう取り組む。ブルーインパルスの展示飛行は、大阪・関西万博の開会の際に実施されれば、大いに盛り上がると思う。

Q. 犬猫などの多頭飼育崩壊を未然に防止したい

A. 多頭飼育崩壊をなくすことは、「犬猫の理由なき殺処分ゼロ」を達成する上で、重要な課題であると認識しており、今後とも重点的に取り組んでいく。

Q. 小中学校の標準服について幅広い選択肢を

A. 費用面や機能面においても多種多様な課題や意見があることから、各学校において、機を見て児童生徒や保護者等の学校関係者の意見を把握したうえで、柔軟かつ適切な運用が行われるよう、必要な助言等を行ってまいる。

大阪維新ジャーナル

OSAKA ISHIN JOURNAL

2022
12

発行元 大阪維新の会 大阪市議員団 〒530-8201 大阪市北区中之島 1-3-20 (大阪市役所8F) TEL: 06-6208-8628 発行日 2022/12



令和6年(予定)

所得制限撤廃 こども医療費

習い事・塾代助成拡大

給食費無償

子育て・教育

無償都市大阪へ



次の世代へ繋ぐ

松井市政 4年の軌跡



妊婦健康診査の支援拡充

超音波検査の公費負担回数を
4回から8回に拡充

- 大阪市立水都国際中学校・高等学校の開校
- G20開催 ● スクールロイヤー事業開始

児童生徒1人1台の 学習用端末の整備

- 大阪港湾局の府市共同設置
- 未就学児を養育する世帯への特別給付金
- 産前・産後の母子支援 相談窓口の開設
- 特定不妊治療費助成制度の所得制限撤廃
- こども本の森中之島開館
- 大阪市行政オンラインシステムの運用開始

府市一体化条例可決

府市連携により二重行政の解消を進め、
府市一体の大阪の成長・まちづくりを進めるための条例設置

- 大阪中之島美術館の開館
- 国際金融都市OSAKA戦略を策定
- 北部こども相談センター開設
- 全中学校の体育館空調整備
- 前立腺がん検診の助成



通常収支が均衡

補填財源を使わずに
予算を組めるように

- 不登校特例校設置へ (令和6年度開設予定)
- 大阪市総合教育センター設置へ (令和6年度開設予定)
- 大阪公立大学の開学

◆大阪・関西万博開催

テーマ:いのち輝く未来社会のデザイン

2025.4.13(日) - 10.13(月) 184日間

開催場所:大阪 夢洲(ゆめしま)

想定来場者数:約 2,820万人

経済波及効果:(試算値)約 2兆円



提供:2025年日本国際博覧会協会



成長・発展
する大阪へ

- 森之宮新キャンパスの開所
- 市内全域が路上喫煙禁止区域に
- 難波宮跡公園北部ブロック開設

2031年

2034年

2029年

- 新線「なにわ筋線」開業



2025年

◆IR開業

世界水準のオールインワン MICE 拠点、宿泊施設、
オンリーワンのエンターテインメント拠点、リゾート空間を結集し、
「世界最高水準の成長型 IR」へ!



MGMリゾート・インターナショナル、オリックス提供

2023年

- うめきた2期地区・地下駅開業
- なんば駅前広場が歩行者空間化

2022年5月時点のイメージベースであり、今後変更となる
可能性があります。(提供:うめきた2期開発事業者)

- うめきた2期地区・一部開業
- 未来医療国際拠点オープン ● OsakaMetro中央線延伸

コロナ対策

- 保健所の体制強化
- 所得減少世帯に対する臨時特別給付金
- 上下水道料金の減免
- コロナ専門病院の先駆け
- 営業時間短縮協力金の上乗せ支給
- プレミアム付き商品券発行
- 買い物応援キャンペーン
- 買い物応援キャンペーン第二弾
- 給食費無償化

- 淀川左岸線2期工事完了